

看護質的統合法（KJ法）研究会 第14回 研究集会のご案内

第2弾

テーマ：質的統合法（KJ法）による
看護研究の発展を目指して

日時：2022年 3月 6日（日） 10時～16時

Web開催（Zoomミーティングによる）

 研究集会長 小林 裕美（研究会九州・沖縄支部長）



プログラム

（午前） 研究成果発表と活動報告 座長 松下 聖子

- 1) ケーススタディによる「地域組織活動を基盤に健康を保持する
男性独居高齢者の相互交流」 金森 弓枝
- 2) 急性期病院の熟練看護師が行うエンド・オブ・ライフケアにおける
超高齢者の療養場所選択についての意思決定支援の構造 矢野 真理
- 3) 熟練看護師が外来で行う肝疾患患者への療養支援のあり様 高比良 祥子
- 4) 活動報告 起業後の質的統合法（KJ法）に関する活動について 小林 裕美

（午後） 特別講演

特別講演1 「質的研究における考察法」

情報工房代表（研究会顧問）山浦 晴男 先生

特別講演2 「看護研究法としての質的統合法（KJ法）」

千葉大学大学院教授（研究会顧問）正木 治恵 先生



お申込み Googleフォームから 2月21日 までにお願ひします
<https://forms.gle/WuQoRcHc3UoYBq1p8> QRコードからも可→



参加費 会員：無料 非会員：¥3,000

注) 非会員の方には、申込み受付後に振込み先をお知らせします。

お問合せ（メール）：nkj2022fukuoka@gmail.com（矢野）

企画運営：N-KJ研究会 九州・沖縄支部 推進委員

小林裕美, 松下聖子, 高比良祥子, 脇 幸子, 金森弓枝, 矢野真理